

# 加賀検定

## 第10回 加賀ふるさと検定試験問題

初級 (全60問)

2022年12月18日

加賀ふるさと検定・おもてなし講座実行委員会

各問題に対して、それぞれ①～④までの選択肢の中に正解が1つあります。解答用紙に、正解と考える番号を1つだけ○で囲って下さい。(黒色のエンピツもしくはボールペンを使用のこと)

- 1 衣服の素材は、戦後になるまでずっと ( ) が中心であった。  
①人絹 じんけん ②麻や綿 ③テトロン ④ナイロン
- 2 「戦後強くなったのは女性と靴下」という言葉が流行ったが、その意味は「女性」は民主主義の象徴であり、「靴下」は ( ) のことを指している。  
①綿糸 めんし ②麻糸 あさいと ③テトロン ④ナイロン
- 3 エアコンやストーブがない時代、( ) と呼ばれる行火を布団に入れて暖をとった。  
①カンテラ ②バンドコ ③ドンザ あんか ④ユタン
- 4 田植え作業のとき、水玉模様の姉さんかぶりに、かすりの着物、赤い前掛けをし、たすきをする女子の和服を ( ) と言った。  
①乙女着姿 おとめぎすがた ②娘着姿 むすめぎすがた ③五月姿 さつきすがた ④早乙女姿 さおとめすがた
- 5 刺身に見立てたコンニャクやクズキリを白味噌などでつくったタレをつけて食べる郷土料理は ( ) と称し、当地でも法事の際の精進料理としてよく出された。  
①ズイキ ②ハウトウ ③キシズ しろみそ ④ナマズ しょうじんりょうり
- 6 江沼平野は、( ) を源流とする大聖寺川や動橋川などによって運ばれてきた土や砂が堆積してつくられたものである。  
①白山 はくさん ②大日山 だいにちざん ③富士写ヶ岳 ふじしゃがだけ ④刈安山 かりやすやま
- 7 加賀市の ( ) には、戦後、2つの大きなダムが造られ、これにより水害がほとんどなくなった。  
①熊坂川 くまさかがわ ②大聖寺川 だいしょうじがわ ③尾俣川 おまたがわ ④動橋川 いぶりはしかわ
- 8 加賀市の片野鴨池は ( ) 登録湿地で、全国でも有数の渡り鳥の飛来地として知られる。  
①パリ条約 ②ロンドン条約 ③ラムサール条約 ④ワシントン条約
- 9 柴山潟、木場潟、今江潟などは、土や砂が堆積せずに残った部分で、これらの湖は ( ) と呼ばれる。  
①海跡湖 かいせき ②沖積湖 ちゅうせき ③入江湖 いりえ ④段丘湖 だんきゅう

- 10 加賀市の神社や鹿島の森などは、ヤブツバキクラス域（常緑広葉樹林帯）に属しており、そうした場所は昼でも薄暗く、タブや（ ）などの樹木が多く見られる。  
①スギ ②アケビ ③クズ ④スダジイ
- 11 明治 36 年、初代（ ）は轆轤技術を応用して、自転車部品である木製リムの製造を開始し、当市における機械製造業発展の基礎を築いた。  
①築城良太郎 ②新家熊吉 ③新家理与門 ④篠原藤平
- 12 元大聖寺藩士の（ ）は、琵琶湖に汽船を就航させることを考案し、明治 2 年に一番丸を就航させた。  
①石川嶂 ②梅田五月 ③飛鳥井清 ④河野安通志
- 13 分校村の農民であった新家理与門らは、明治 4 年（1871）、藩の増税策の見直しや十村役の廃止を訴えるために（ ）一揆を起こした。  
①青虫 ②いも虫 ③みの虫 ④かめ虫
- 14 京都出身の総合芸術家（ ）は、大正 4 年、山代温泉に来遊し、須田菁華から九谷焼を学び、陶芸の分野でもその才能を発揮した。  
①北出塔次郎 ②富本憲吉 ③諏訪蘇山 ④北大路魯山人
- 15 （ ）から出土した斧形石器と槍先形尖頭器は、旧石器時代終わり頃から縄文時代始め頃のものとして推定される。  
①美崎千崎遺跡 ②新保遺跡 ③橋立大野山遺跡 ④新堀川遺跡
- 16 加賀市勅使町の国指定史跡（ ）横穴群は、古墳時代を代表する遺跡で、200 基余りの横穴があると考えられている。  
①勅使山 ②天皇山 ③法皇山 ④皇子山
- 17 藤の木遺跡からは、北陸・東海・近畿・関東系の特色をもつ縄文時代中期の土器や信濃和田峠産の（ ）で作られた石刃も出土しており、縄文交易の広がりを見せている。  
①水晶 ②雲母 ③滝ヶ原石 ④黒曜石
- 18 黒瀬・南郷古墳群のうち、吸坂イカリ山 13 号墳は、全長（ ）m を越す市内最大級の前方後円墳で、江沼郡の首長であったと考えられる豪族の墳墓と推察されている。  
① 20 ② 50 ③ 70 ④ 120

- 19 平安後期の書である『白山之記』に、江沼郡内では白山五院の他に、那谷寺・温谷寺・  
 ( ) の三箇寺が白山信仰の拠点地として建立されたことが記載されている。  
 ①温泉寺 ②柏野寺 ③栄谷寺 ④極楽寺
- 20 鎌倉時代、北野宮寺領であった ( ) の新補地頭として土着した狩野氏は、荘内の総  
 鎮守社の神主職をも握るようになり、江沼郡でも最も有力な国人(土豪)にまで成長した。  
 ①福田庄 ②奈多庄 ③額田庄 ④熊坂庄
- 21 建武2年(1335)、鎌倉幕府の再興を凶って中先代の乱が起こると、この反乱に北陸道で  
 呼応した ( ) の軍勢が上洛を目指して南下した。  
 ①北条時行 ②大仏貞直 ③名越時兼 ④金沢貞顕
- 22 建武3年(1336)、新田義貞派の畑時能が狩野一党を味方に入れ、大聖寺ノ城に立て籠も  
 る尊氏方の ( ) を攻め落とした。  
 ①津葉清文 ②斯波高経 ③富樫高家 ④脇屋義助
- 23 加賀の守護職をめぐるで弟幸千代と争い、越前に亡命していた ( ) は本願寺派と結  
 び、文明6年(1474)幸千代が拠点とした蓮台寺城を陥れ守護職を奪還した。  
 ①朝倉宗滴 ②織田信長 ③富樫政親 ④上杉謙信
- 24 文明18年(1486)頃、蓮如の4男 ( ) が江沼郡の門徒から取り立てられて山田坊  
 に入り、光教寺が成立すると、後の「加州三ヶ寺体制」の基礎が確立した。  
 ①蓮乗 ②蓮綱 ③蓮誓 ④蓮悟
- 25 謡曲「敷地物狂」や「ゆみつぎ」は、江沼郡の出身と伝えられる僧 ( ) の事蹟をも  
 とに創作されたものである。  
 ①明覚 ②円珍 ③延昌 ④円仁
- 26 天正12年(1548)溝口秀勝は ( ) の与力として大聖寺城に入り、およそ15年間に  
 わたって当地を治めた。  
 ①明智光秀 ②丹羽長秀 ③柴田勝家 ④滝川一益
- 27 宮本屋窯の画工 ( ) は、赤絵細描九谷の大成者で、その門下には竹内吟秋や  
 浅井一毫がいる。  
 ①軽海屋半兵衛 ②永楽和全 ③飯田屋八郎右衛門 ④吉田屋伝右衛門

28 元禄2年(1689)、松尾芭蕉まつおばしやうが山中温泉の( )に宿泊した際、宿の主人くめのすけ久米之助に桃夭とうようの俳号を贈ったが、夭の字は不吉として桃妖にしたという。

- ①吉野屋よしのや      ②泉屋いずみや      ③俵屋たわらや      ④蔵屋くらや

29 大聖寺城主の山口宗永やまぐちむねなが・修弘ながひろ父子は、慶長5年(1600)8月3日に金沢の前田軍けいちやうと戦って敗れ、大聖寺城内で自決して家臣約( )を失ったという。

- ①600人      ②700人      ③800人      ④900人

30 加賀藩主3代前田利常まえだとしつねは、寛永2年(1625)年に久世徳左衛門くぜとくざえもんに命じ、大聖寺川から水を引き入れて別所村べっしょむらから山代新村やましろしんむらに至る( )用水を完成させた。

- ①市之瀬いちのせ      ②矢田野やたの      ③紙谷かみや      ④御水道おすいどう

31 大聖寺藩主前田利明としあきは、延宝4年(1676)に中田村五郎兵衛ごろうべえと足軽の栗村茂右衛門くりむらしげえもんを河北郡二俣村ふたまたむらに派遣し、( )の方法を習得させた。

- ①養蚕ようさん      ②製茶せいちゃ      ③製紙せいし      ④製塩せいえん

32 大聖寺絹は、延享年間(1744~47)に( )の沢屋さわやが大聖寺に織物技術おりものぎじゆつを伝えたことに始まり、武士の奥方の内職おくがたないしよくとして広まり「お内儀絹」(おかみさまぎぬ)と呼ばれた。

- ①庄村しょうむら      ②西島村にしじまむら      ③加茂村かもむら      ④中代村なかだいむら

33 大聖寺藩では、江戸中期から菜種油なたねあぶらの荏油えあぶらのほかに桐油きりあぶらや桐油たぶあぶらも多く生産した。桐油の生産量は、江戸後期に( )の村々が領内の80%を占めていた。

- ①東谷ひがしたに      ②西谷にししたに      ③三谷みたに      ④菅谷すがたに

34 大聖寺藩の製茶業せいちゃぎやうでは、江戸前期から( )甚四郎じんしろうが代々藩の茶問屋ちゃどんやを務めて口銭こうせん(手数料)を得ており、大聖寺城下には下問屋しもどいや2人を置いていた。

- ①山代村やましむら      ②保賀村ほうがむら      ③打越村うちこしむら      ④串村くしむら

35 大聖寺藩では、大聖寺城下の西端せきしよに関所を、越前国境の吉崎・( )・大内・橘村などに口留番所くちどめばんしよを置き、越前との往来を監視した。

- ①風谷かざたに      ②丸谷くたに      ③片谷へぎだに      ④菅谷すがたに

36 大聖寺藩主9代( )は、文政4年(1821)12月に加賀藩主12代前田齐広なりながの願書により幕府から10万石の待遇が公認された。

- ①前田利考まえだとしやす      ②前田利之まえだとしこれ      ③前田利極まえだとしなか      ④前田利平まえだとしひら

- 37 加賀市ようかいち八日市町の外れには、平安時代末期の歌人（ ）が弟子の西住さいじゅうと別れた伝える場所に石地蔵いしじぞうの「都もどり地蔵みやこじぞう」（加賀市指定文化財）がある。
- ①西行法師さいぎょうほうし ②藤原定家ふじわらのていか ③菅原道真すがわらのみちざね ④紀貫之きのつらゆき
- 38 家老むらいとのもの村井主殿は、宝永6年（1709）に大聖寺藩主前田利直まえだとしなおの意を受けて、小堀遠州こぼりえんしゅうの建築意匠けんちくいしょうを採り入れた（ ）を建造したといわれている。
- ①蘇梁館そりょうかん ②長流亭ちやうりゅうてい ③竹涇館ちっけいかん ④梅花庵ばいかあん
- 39 加賀市（ ）町の外れには、寿永2年（1183）の源平争乱げんぺいそうらんで戦死した齋藤実盛さいとうさねもりの霊しずを鎮めるために築いたと伝えられる「実盛塚さねもりづか」がある。
- ①篠原しのはら ②篠原新しのはらしん ③手塚てづか ④伊切いきり
- 40 加賀市大聖寺の（ ）には、京都の仏工山本茂祐ぶつこうもすけが慶応3年（1867）から明治初年にかけて製作した木製の「五百羅漢像ごひやくらかん」（計517体）が残っている。
- ①実性院じつしょういん ②久法寺きゅうほうじ ③全昌寺ぜんしょうじ ④宗寿寺そうじゅじ
- 41 小塩辻村おしおつじむらの初代鹿野小四郎かのこしろうは、十村役とむらやく（組付十村くみつきとむらや目付十村めつけとむら）を約15年間務めたのち、宝永6年（1709）に貴重な農書（ ）を著した。
- ①農業全書のうぎょうぜんしょ ②農業蒙訓のうぎょうもうくん ③農事遺書のうじいしょ ④耕稼春秋こうかしゅんじゅう
- 42 山中温泉（ ）の菅原神社境内すがわらじんじやけいだいには、地上4.9mのところとうかんで二つに分かれ、東幹みきまわりの幹周が5.1m、西幹の幹周が5.8mで、本州最大級の巨樹「天覧の大杉てんらんのおおすぎ」がある。
- ①下谷町しもたに ②菅谷町すがたに ③栢野町かやの ④我谷町わがたに
- 43 加賀市中央公園みなぞくぶんかざいしゅうせうこの民俗文化財収蔵庫ぶんぎょういとうつねじろうには、加賀市分校町の伊藤常次郎が生涯をかけて収集した（ ）の山村生産用具及び民家（国指定有形民俗文化財）が保管されている。
- ①白山麓はくさんろく ②加賀国かがこく ③江沼郡えぬまぐん ④大日山麓だいにちさんろく
- 44 明治3年（1870）、大聖寺藩は50人の浦上キリシタンを預かり、大聖寺山ノ下寺院群きゅうほうじ久法寺の裏山に位置する（ ）の長屋に收容した。
- ①庄兵衛谷しょうべいだに ②穴虫あなむし ③木呂場ころば ④法華坊ほっけぼう

- 45 加賀市で北前船の四大船主といわれているのは、西出孫左衛門、大家七平、廣海二三郎と（ ）である。
- ①酒谷長兵衛 ②西野小左衛門 ③久保彦兵衛 ④忠谷久五郎
- 46 大聖寺山ノ下寺院群の（ ）には、明治期、鉛筆製造に尽力した柿沢理平の墓があり、その法名は「制鉛院造筆日肇居士」と刻まれている。
- ①蓮光寺 ②久法寺 ③正覚寺 ④本光寺
- 47 明治期、江沼郡では、伊万里焼の写しを大量に生産した。この焼き物は仕上がりが良く、（ ）伊万里と呼ばれ、海外では大変人気があった。
- ①吸坂 ②江沼 ③大聖寺 ④山代
- 48 明治11年(1878)、大聖寺本町に、当地では初めての本格的な銀行である（ ）銀行が設立された。
- ①七十七 ②八十四 ③百五 ④百十四
- 49 明治44年(1911)創業の大聖寺川水電株式会社は、電力の必要をいち早く感じていた（ ）たちが中心となってつくられた。
- ①旅館主 ②北前船主 ③機業家 ④医師
- 50 明治5年に「学制」が公布され、これに基づき、翌6年、江沼郡内では21におよぶ小学校が設立された。このうち、大聖寺には、錦城・（ ）・有隣・旗陽の4つの小学校がつけられた。
- ①遷明 ②京達 ③時習 ④松島
- 51 JFいしかわの2019版の統計によると、石川県全体の漁船総数3,884隻に対して、加賀市の漁船数は（ ）隻となっている。
- ① 67 ② 149 ③ 208 ④ 326
- 52 平成22年の国勢調査における加賀市の産業別就業者の比率を見ると、第1次産業の農林水産業にたずさわる人は、およそ（ ）%である。
- ① 3 ② 12 ③ 26 ④ 35
- 53 加賀市の（ ）町では、トマトなどを中心としたハウス栽培が盛んである。
- ①柴山 ②三谷 ③横北 ④作見

54 無人駅となった大聖寺駅は、令和4年6月、新たにぎわいの場 大聖寺（ ）として、コワーキングスペースの新設や大阪で有名なパン店の出店等で生まれ変わった。

- ①ターミナルシティ ②ゲートウェイ ③スマートウェイ ④ワークスペース

55 令和5年秋公開予定の映画「LADY KAGA」は、加賀温泉郷の若女将たちがタップダンスを通じて、温泉地を盛り上げていくストーリーで、主演女優は（ ）である。

- ①小芝風花 ②浜辺美波 ③有村架純 ④清原果耶

### 専門テーマ「錦城山」

56 錦城山の標高は約（ ）メートルである。

- ① 65 ② 85 ③ 97 ④ 102

57 錦城山の麓で穴を掘って、贋金をつくった事件を「パトロン事件」と呼ばれているが、そのパトロンとは（ ）のことである。

- ①支援者 ②藩札 ③弾薬 ④二歩金

58 大聖寺城の名が登場する最も古い時代の書物は（ ）である。

- ①太平記 ②源平盛衰記 ③今昔物語 ④平家物語

59 錦城山という名前と呼ばれるようになったのは、明治以降のことであるが、それ以前は、（ ）と呼ばれていた。

- ①古城山 ②鹿山 ③蛇山 ④後ろ山

60 錦城山北西側は、数百羽の（ ）が集まるコロニー（集団繁殖地）として知られている。

- ①カラス ②サギ ③ムクドリ ④ハト